

## 千葉菌類談話会通信 36号 目次

■ 珍菌アンドンタケを模式産地で90年ぶりに確認	村川 功雄・尾崎 煙雄	4
■ 行徳鳥獣保護区で活動しています！	中村 麻衣	6
【解説】日本新産種 ヒメシロフクロタケ、カヤバノクヌギタケ	糟谷 大河	7
【解説】日本新産種とはなにか — 千葉県産標本の日本新産種について —	吹春 俊光	9
■ 椎茸栽培 = 父の思い出	安藤 操	10
■ 見えなかったものが見えるように	内海 紀子	11
■ アンモニア菌ザラミノヒトヨタケと ザラミノヒトヨタケモドキの千葉県内における分布	吹春 俊光	12
■ 菌類学文献に隠された「未知の繋がり」を見つけ出す	中島 淳志	15
■ 八丈島の光るキノコ観察会に参加して	淵澤 功	20
■ ハチミツトリュフ	木下 裕美	22
■ どんぐりキノコ10周年	木下 裕美	24
■ 孢子画フロンティア	木下 裕美	27
■ ネパールでキノコと出会った話	木原 正博	30
【紹介】ブラーさんのヒトヨタケ・インク (p. 27 関連)	吹春 俊光	34
■ ロンドンのきのこ屋さん	前川 啓二	35
■ 2019年度行事報告	菊乃・吹春 公子	38
■ 投稿のご案内		41
■ 表紙シリーズ 房総の森ときのこ その4 「シイ・カシ林のきのこ (2)」	吹春 俊光	43
■ 表紙によせて	大作 晃一	49